

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年5月19日現在

機関番号：12501

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2010年度～2012年度

課題番号：22560601

研究課題名（和文） 東アジアにおける公共空間の潜在的持続性と地域再生研究

研究課題名（英文） A Study on the Regional Revitalization and Potential Sustainability of Public Space in East Asia

研究代表者

北原 理雄（KITAHARA TOSHIO）

千葉大学・大学院工学研究科・教授

研究者番号：60115558

研究成果の概要（和文）：

東アジア諸国の都市は、公共空間を生活空間の一部として利用し維持してきた歴史的な類似点を持っており、都市再生や地域活性化を考えるうえで重要な手がかりを有している。

本研究の目的は、生活に根ざした東アジアの公共空間を対象に、1）形態学的分析による空間構造の体系化、2）空間利用に関する多角的側面からの検証である。

その結果、次のような成果が得られた。①ソウル市（韓国）、上海市（中国）、台北市（台湾）の市場調査を行い、公共空間に係る制度と運用実態を明らかにした。②千葉市における実験を通して、公共空間の利活用が生み出す賑わいの実態と意識効果を明らかにした。

研究成果の概要（英文）：

The cities of the East Asia has the historic similarity that used public space as life space. And it is very important to know regional revitalization approach to use spatial common elements.

The purpose of this study is the followings:

- Systematization of Public space structure by the morphologic analysis in East Asia cities. And,
- to analyze the control systems and use procedures of public space.

The results are the followings:

- We analyzed case of 12 markets of Taipei, Taiwan, 4 markets of Shanghai, China, and 13 markets of Seoul, Korea, and explained the characteristics of their control system and use procedures of public space.
- We analyzed the effect of the public space use on townscape improvement and regional revitalization through parasol gallery in Chiba.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
22年度	1,200,000	360,000	1,560,000
23年度	1,000,000	300,000	1,300,000
24年度	1,100,000	330,000	1,430,000
総計	3,300,000	990,000	4,290,000

研究分野：工学

科研費の分科・細目：（分科）建築学・（細目）都市計画・建築計画

キーワード：東アジア、公共空間、共生的持続性、地域再生、賑わい、市場、屋台、自治会

1. 研究開始当初の背景

道路、街路、公園などの公共空間は、都市の文化を生み出す多様な機会を提供している。そこは多様な年齢層の交流、市民活動・文化

活動の場として活用されており、人々の生活に根づいた地域文化を生み出すコミュニティの核となってきた。

近年、このような公共空間の潜在的価値が

見直されている。欧米の先進都市では、いち早く公共空間の価値創出に関して都市再生やデザインなど様々な側面から取り組みを行ってきた。

一方、日本を含む東アジア都市では、歴史的に公共空間を生活空間の一部として欧米以上に有効に活用してきた。これらのインフォーマルな公共空間利用は、前近代的性格を持つ反面、活気に満ちたコミュニティを支える役割を有効に果たしてきた。

国土交通省は平成11年より、公共空間の潜在的活用について積極的に「社会実験」等の補助事業を推進しており、それらと併せて自治体でも多様な都市再生を図る試みがみられる。

公共空間の潜在性価値を再評価し、都市計画・都市デザインの中に組み込むことができれば、グローバル化によって均質化しがちな都市環境に伝統に根ざした地域特性を与え、内発的な地域再生をもたらすと考える。

2. 研究の目的

本研究の目的は、生活に根ざした東アジアの公共空間を対象に機能的・形態的に分析し、基本構造を解明し理論化することによって、公共空間の潜在的価値を見直し、物的な計画・デザインに加え、利活用というソフト面を重視しつつ、地域内発型の都市再生モデルを実証的に解明することである。

(1) 形態学的分析による空間構造の体系化：東アジア都市の公共空間は、都市構造と生活基盤として重要な役割を果たしてきた。生活空間としての公共空間の形態的・機能的変化の中で、可変的で柔軟な構成要素が作り出す空間構造を体系化する。

(2) 空間利用に関する多角的側面からの検証：公共空間に関する潜在的活用の要素や形態と、その運用実態を検証する。

3. 研究の方法

本研究は公共空間の潜在的価値と有効利用の観点から空間の構造を体系化し、デザイン化条件の抽出によって地域内発型の都市再生の計画理論を確立することである。

そのため、東アジア(台湾・中国・韓国)を中心に、以下のように進める。

(1) 地図や絵図・写真などを用いて、東アジアにおける近代以降の空間の成立背景や構造変容について分析する。

(2) 公共空間が生活空間やコミュニティ空間として機能する物的条件と、空間的な利用形態を分析する。

4. 研究成果

4. 1 台北市(台湾)

(1) 公共空間に係わる都市計画的制度

1895年に日清戦争の終結後、台湾には総督

府が置かれ、台湾家屋建築規則(1900年)、市区改正条例(1905年)、大台北市区計画(1932年)によって計画的な都市づくりが行われた。

台北市は1945年に日本が敗戦し台湾が光復すると、人口の増大とともに、農業社会から工業社会へと急激に変貌していった。これ以降、衛生都市の成長や工業地区の停滞などを経て、市街地は西から東へ拡張し、重層化していった。

台北市は地域資源として道路や街路を積極的に活用した地域密着型の市場づくりに取り組んでいる。認可された148市場の他にも多様な市場は存在し、これらは「台北市零售市場管理規則」によって管理されている。管理運営の体制は、市場の業務を管理する主機関「建設局」、実行機関「台北市市場管理处」であり、市場の管理運営に係わる責任を書面化し明確化している。また、規則には自治会結成の誘導や、使用もしくは占用、賞罰、使用費の算定基準などの事項が定められている。

(2) 事例調査による類型別考察

12市場を行為と空間の形態的視点から見ると、以下の5つに区分できる<表1>。

①路上型(No.6,7,8,10,12)：道路や街路で形成された市場。多くの観光客が訪れる臨西街観光夜市は観光客の安全を担保するため、市場街路を3区間に分け、街路真ん中の屋台を一時撤収などの取り組みを実施している。

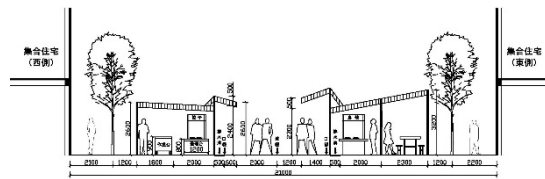


図1. 南機場攤販集中場(断面図)

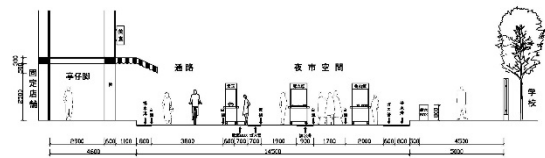


図2. 寧夏路観光夜市(断面図)

②アーケード型(No.3,11)：アーケードのような物的構造物の中に集積された市場。士林市場や華西街観光夜市は観光地として成長し、管理の体制も明確に構築されている。

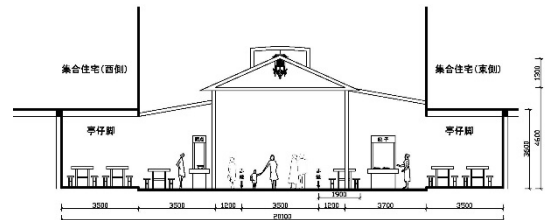


図3. 華西街観光夜市(断面図)

③建物型(No.2,9)：一定の構造物の中に集積された市場。南門市場は典型的な建物型として近隣との関係性が希薄であるが、永春市場は建物側に隣接した臨時屋台が自治会に所属

し、地域空間の秩序を保持している。

②仮説屋根型(No.1,4):仮設物の固定化によって商業集積地化された市場。100年以上の歴史を持つ東門市場は老朽化による市場整備計画が予定されているが、現コミュニティ維持のため、多くの商店が現存維持を希望している。

⑤高架下型(No.5):高架下などを利用した市場。建國假日玉市は平日に駐車場として利

用される高架下を週末だけ市場として開催されている。

4. 2 上海市 (中国)

(1) 公共空間に係わる都市計画的制度

近年、中国の著しい経済発展は社会経済産業基盤だけではなく、都市空間の都市化を加速させてきた。これにより公共空間と生活活動の調和によって地域経済を支えてきた地域密着型の市場も大幅減少されている。

表 1. 台北市の事例調査概要

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
市場名	新北投 攤販集中場	公有 永春市場	公有 士林市場	公有 東門市場	建國 假日玉市	饒河街 觀光夜市	雙城街 攤販集中場	寧夏路 觀光夜市	公有 南門市場	臨江街 觀光夜市	華西街 觀光夜市	南機場 攤販集中場
調査日	2011.2.18	2011.2.18	2011.2.18	2011.2.19	2011.2.19	2011.2.19	2011.2.20	2011.2.20 2013.1.9 & 11	2011.2.21	2011.2.21	2011.2.22 2013.1.10&12	2011.2.22 2013.1.10&13
調査時間	10:00-10:30	13:30-15:00	18:00-19:00	11:30-12:50	13:00-14:30	17:40-19:00	14:50-15:50	20:00-22:20	16:00-16:30	19:30-22:00	13:30-14:30	15:50-16:50
調査方法	・現地調査	・現地調査 ・インタビュー	・現地調査 ・実測調査 ・インタビュー	・現地調査 ・インタビュー	・現地調査 ・実測調査 ・インタビュー	・現地調査 ・実測調査 ・インタビュー	・現地調査 ・実測調査 ・インタビュー	・現地調査 ・実測調査 ・インタビュー ・アンケート調査	・現地調査	・現地調査 ・実測調査 ・インタビュー	・現地調査 ・実測調査 ・インタビュー ・アンケート調査	・現地調査 ・実測調査 ・インタビュー ・アンケート調査
インタビュー 対応者	-	・自治会会長: 黄秀玉 ・自治会経理: 林育誼	・台北市市場 処管理員: 徐毓倫、黄 民康	・自治会会長: 潘愛玉	・自治会理事 長:吳思翰 ・自治会総幹 事:王煜斌 ・A区総幹事: 李隆銘	・管理委員会 総幹事: 陳妙瑜	・雙城美食管 理委員会 会長: 廖政斌	・自治会総幹 事: 林定國	-	・自治会執行 長: 朱永清	・華西街商 圏区協会 秘書: 黄雪城	・南機場夜 市会長: 王普常
形成年度	不明	1959	1909	1908	1988	1987	1950	1882	不明	1950年代	1950	1988
位置	北投區復興 四路8巷	信義區松山 路294號	士林區基河 路60號	中正區金山 南路一段 110	大安區建國 南路(高架橋 下)	松山區 饒河街	中山區 雙城街10巷	大同區 寧夏路	中正區 羅斯福路 一段8號	松山区	萬華區 華西街	中正區 中華路二段 307巷
類型	仮説屋根型	建物型	アーケード型	仮説屋根型	高架下型	路上型	路上型	路上型	建物型	路上型	アーケード型	路上型
規模	未確認	300m ² /階	未確認	400m ²	1,100m	600m	100m	400m	未確認	350m	320m	120m
営業時間		08:00-17:00	05:00-13:00 (朝市) 16:00-26:00 (夜市)	05:00-21:00	09:00-18:00 (土日のみ)	16:00-25:00	08:00-17:00 (朝市) 17:00-24:00 (夜市)	17:00-25:00	07:00-20:00	05:00-15:00 (朝市) 16:00-26:00 (夜市)	24時間	16:00-24:00
休市日		未確認	・日市:週市 ・夜市:無	無	無	無	無	無	毎月第2,4 週日の月曜 日	無	無	無
店舗総数 (屋台)	未確認	1階:132台 2階:170台	1階+2階: 380台	60台	837台	748	88	200 (180)	未確認	600 (165)	188	100
主な業種	日用品、雑 貨、食品類 など	1階:生鮮類 2階:中古品 (蚤の市)	・朝市:生鮮 類 ・夜市:服、 日用品、飲 食 ・地下:軽食	生鮮類	宝石類、雑 貨類	衣服類、日 用品、雑 貨、軽食類 など	軽食類	軽食類	乾物、衣服 類、日用品 、雑貨、軽 食類など	衣服類、日 用品、雑貨 、軽食類 など	骨董品、 日用品、雑 貨、軽食 類など	衣服類、日 用品、雑 貨、軽食 類など
主要客層	-	・30~40代 ・地域住民 または市民	・20~40代 ・観光客	・30~60代	・30~60代 ・観光客 ・3万人/日	・20~40代 ・観光客 ・1万人/日	・30~60代 ・観光客 ・2千人/日	・20~40代 ・観光客 ・2万人/日	-	・10~40代 ・観光客 ・1.5~2 万人/日	・30~60代 ・観光客	・10~40代
自治会の 規約有無	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
自治会 構成人数	-	136	-	60	837	748	88	180	未確認	600	188	100
会費	-	・600元/月 ・蚤の市の出店 者:テーブル 250元、花車 300元(1日) ;テーブル400 元、花車500 元(2日)	-	300元/月	・1000元/年 ・500元/月(掃 除代、水、電気、 管理費、レンタル)	・750元/月 ・300元/月(無)	・6500円/月	・300元/日	未確認	・店舗:800 元/月(掃 除代+管理 費) ・屋台:無料 (電気代:近 接店舗と各 自交渉)	・100元/年 (会費) ・2000元/月 (管理費)	・2000元/月
備考		・臨時屋台(無 許可):200- 800元/日; 12:00-15:00 出店可								・市場街路を 3区間に区 分し、屋台 が一時撤収 (20:00-23: 00)		

特に夜市は主に中華圏を中心として夕方から真夜中にかけて営業する市場の一種であり、地域の性格に沿って自然発生的に形成されたものが多い。

中国の主要な市場管理は市容環境衛生局、市政管理部門、工商局、城市綜合行政執法部門などである。1998年以前までは警察局が無許可市場を取り締まる担当部署であったが、1998年12月北京市において城市管理執法局の設立によって主な担当部署となり、他都市においても同様な組織が構成された。

上海市においても、2010年万博会の開催を契機に市内の夜市が厳しく取り締まれ、数多い夜市が郊外への移転、または都市の隙間空間を利用してゲリラ的な営業を行っているが現状である。

(2) 事例調査による類型別考察

表2. 上海市の事例調査概要

No.	1	2	3	4
市場名	寿寧路美食街	昌里路夜市	新西宮市場	臨汾路夜市
調査日	2012.12.12	2012.12.13	2012.12.13	2012.12.15
調査時間	19:00-21:00	19:00-21:30	16:00-18:30	18:00-20:30
調査方法	現地調査 実測調査 インタビュー	現地調査 実測調査 インタビュー	現地調査 インタビュー	現地調査 実測調査
形成年度	1990年代	1989	2002	1990
位置	黄浦区寿寧路	浦東新区	普陀区東新路347	閘北区臨汾路
類型	街路隣接型	街路固定型	建物型	街路隣接型
規模	200m	670m	4階建て	1000m
営業時間	10:30~29:00	16:00~22:00	10:00~21:30	17:00~24:00
休市日	無	不特定	不特定	不特定
店舗数(露店)	55+(30)	(87)	320軒	屋台400~500
主な業種	軽食類	衣服類、日用品、雑貨、軽食類 など	衣服類、日用品、雑貨、軽食類 など	日用品、雑貨、食品類、軽食類、衣服類、アクセサリ、ファッション、靴
主要客層	地域住民・20代~30代	地域住民・20代~50代	地域住民・10代~20代	地域住民

①店舗隣接型(No.1,4)：1本の道路または街路に固定店舗が隣接し、その周辺に露店や屋台が分布された市場。既に特色を持った商店街に屋台群が付加され、顧客の開拓や市場に対する新たな価値創造を強化している。屋台は個人店舗が営業範囲を外部まで広げるために設置する場合が多数であるが、地域住民であれば店舗主との暗黙のルールによって出店するケースもある。

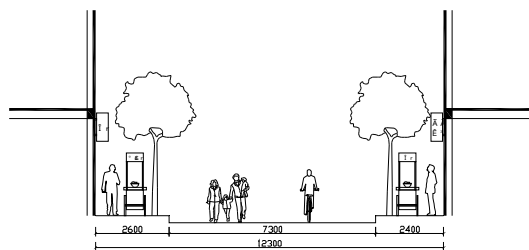


図4. 寿寧路美食街(断面図)

②街路固定型(No.2)：道路または街路上に屋台フレームを固定化した市場。昌里路夜市

の場合、地元行政が上海万博会開催に向けて都市美観整備の一環として街路上に屋台フレームの常設化した事業である。また、屋台出店資格(地区住民・生活基盤の微弱者・長期出店者/出店料:100-600元)を明確化し、市場の運営や公共空間の賑わい生成を図っている。

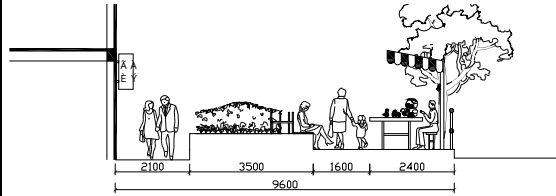


図5. 昌里路夜市(断面図)

③建物型(No.3)：一定の構造物の中に集積された市場。特定の業種が集約された傾向が強く、これによって主要客層も限定されている。また、地域との関係性についても希薄であり、内部集約傾向が非常に強い。

4. 3 ソウル市(韓国)

(1) 公共空間に関する都市計画的制度

韓国は、1912年には朝鮮総督府を通じて「市区改正に関する訓令」から市街地の整備が行われ、1934年に韓国最初の都市計画法ともいえる「朝鮮市街地計画令」が制定された。第2次世界大戦と1950年の韓国戦争後、戦災跡地の整理と復旧事業を兼ねた土地区画整理事業が行われたが、本格的な都市計画による都市開発及び整備が始まったのは、1960年以降である。

公共空間の管理制度導入は、1991年の都市計画法の改正による。1980年代頃、より長期的な都市計画が必要となり、具体的な都市開発行為の規制が要求された。当時の都市計画は土地利用計画と開発事業計画が主とされ、景観上の問題は取り残されていた。これらの問題を補完するために1991年、都市計画法に詳細計画地域、建築法に都市設計区域を制定され、また、2000年度の都市計画法の改正による「景観地区」の新設は制度的な側面から公共空間コントロールに取り組む契機となった。さらに2003年度の国土体系改編による法規には都市景観計画が義務付けられ、2007年の「景観法」制定によってより体系的に管理されることになった。

(2) 事例調査による類型別考察

ソウル市では312の市場が存在し、登録市場が200箇所、無登録市場が112箇所である。これらの市場は「在来市場及び商店街育成のための特別法」に基づいて政府行政機関の中小企業庁によって支援されている。また、ソウル市は上記の法律に基づき、市場の「経営活性化に関する計画」や「施設現代化推進に関する総合計画」によってハードとソフトの支援に取り組んでいる。形態的視点から13市場は以下の3つに類型分できる<表3>。

①建物型(No.4,5,12)：一定の構造物の中に集積された市場。特定の業種が集約された傾向が強く、これによって主要客層も限定されている。また、地域との関係性についても希薄であるが、Seogyo Marketのように空き店舗にアート機能を挿入した文化事業を展開す

ることによって地域との関係性を保持するようにしている。

②敷地型(No.1,6)：2本以上の道路または街路に店舗や露店が接して広範囲で分布された市場。市場に地域の文化や歴史が浸透し、歴史文化的な価値や社会環境的な価値が市場機

表3. ソウル市の事例調査概要

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
市場名	Seoul Yanghyeong Market	Kyungdong Market	Cheongyangni Tratinonal Market	Dapsimni Antique Market	Pyounghwa Clothing Market	Namdaemun Market	Jongno Shinjin Market	Kwangiang Market	Doanm Jeil Market	Suyu Market	Sinwon Market	Seogyo Market	Junggok Market	
調査日	①2011.9.12 ②2013.1.03	①2011.9.12 ②2013.1.03	①2011.9.12 ②2013.1.03	①2011.9.12	①2013.1.04	①2011.9.18 ②2013.1.04	①2013.1.05	①2011.9.18 ②2013.1.05	①2011.9.11 ②2013.1.06	①2011.9.11 ②2013.1.06	①2011.9.13 ②2013.1.06	①2011.9.18	①2011.9.13	
調査時間	①10:30-14:30 ②18:00-19:30	①15:40-16:30 ②10:00-12:30	①20:00-22:30 ②14:00-16:30	①18:00-19:30	①20:00-22:30	①14:00-16:30 ②15:00-19:00	①11:00-16:00	①18:00-19:30 ②16:30-19:00	①11:30-13:30 ②18:00-20:00	①15:00-17:00 ②10:00-12:30	①09:30-13:30 ②14:30-16:00	①10:00-12:30	①16:00-20:30	
調査方法	現地調査 実測調査 インタビュー	現地調査 実測調査 インタビュー	現地調査 実測調査 インタビュー	現地調査 実測調査 インタビュー	現地調査 実測調査 インタビュー	現地調査 実測調査 インタビュー	現地調査 実測調査 インタビュー	現地調査 実測調査 インタビュー	現地調査 実測調査 インタビュー	現地調査 実測調査 インタビュー	現地調査 実測調査 インタビュー	現地調査 実測調査 インタビュー	現地調査 実測調査 インタビュー	
形成年度	1960年代	1960	1948	1980年代	1962	1911	1952	1905	1952	1966	1950	1974	1970	
位置	東大門区祭基洞&龍頭洞の一角	東大門区祭基洞	東大門区清涼里洞	東大門区路十里洞	中区乙支路	中区南倉洞	鍾路区鍾路5街	鍾路区礼智洞	城北区東小門路	江北区水輪洞	冠岳区新院洞	麻浦区西橋洞	広津区中谷洞	
類型	敷地型	アーケード型	アーケード型	建物型	建物型	敷地型	アーケード型	アーケード型	アーケード型	アーケード型	アーケード型	建物型	アーケード型	
規模	約23万5,500㎡	約1万㎡	1,466㎡	4,419㎡	8,078㎡	約4万2,225㎡	1,671㎡	400m	7,315㎡	350m	200m	2,314㎡	8,788㎡	
営業時間	09:00-19:00 (平日・土曜)	04:00-19:00	00:00-24:00	09:00-19:00	21:00-06:00	00:00-24:00	09:00-22:00	17:00-25:00	08:00-22:00	10:00-21:00	09:00-22:00	07:00-21:00	05:00-20:00	
休市日	日曜日	正月と秋夕	無	毎月1・3週目日曜日	不特定	無	無	無	不特定	不特定	毎月2週目火曜日	無	無	
店舗数(露店)	1,000(約200)	140	70	140	2,070	9,265	57	約5,000	118(10)	500-600	120	23	140	
主な業種	漢方薬品 関連病院	山菜類 干物類	青果類 食品類	古美術品 骨董品	衣服類 雑貨類	青果類 干物類 軽食類 雑貨類 衣服類 野菜類	干物類 軽食類 雑貨類 衣服類 レザー用品	青果類 干物類 軽食類 野菜類	食品類 生鮮類 野菜類	衣服類 日用品 雑貨類 生鮮類	青果類 干物類 軽食類 雑貨類	日用品 雑貨類 軽食類	青果類 干物類 軽食類 雑貨類	
主要客層	主に60-80代(全国)		地域住民	観光客	小売業者	市民 小売業者 卸売業者 観光客	地域住民	市民 小売業者 卸売業者 観光客	地域住民 (特に女性)	地域住民	地域住民	地域住民 周辺大学生	地域住民	
自治会の規約有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
自治会構成人数	260	136	70	56	不明	約5-6,000	約50	180	118	約500-600	不明	不明	不明	
市場ホームページ	http://www.seoul.gov.kr/yanghyeong/index/index.htm	http://www.kyungdongmart.com/index/index.htm	http://ddmmk.com/Mk_main.asp?Mk_no=6	—	http://www.pyounghwa.com	http://www.namdaemunmarket.co.kr/	—	http://jkm.or.kr/home/home/sijang/	http://cafe.daum.net/donamjeilmarket/	http://www.suyumarket.com/	—	http://www.seogyo.com	http://aricj.co.kr/	
主な取り組み	・漢方薬博物館運営(2006-) ・環境改善事業(2008) ・漢方文化祭り開催(2008-) ・商店街大学運営(2009-)	・インターネットショッピングモール運営 ・環境改善事業(2003) ・クレジットカード端末機普及 ・商品券発行 ・伝統市場イベント開催	・環境改善事業(2003) ・クレジットカード端末機普及 ・商品券発行 ・伝統市場イベント開催	・(社)韓国古美術協会と連携し、古美術文化大学運営	・株式会社化による市場運営 ・株式会社化による市場運営 ・株式会社化による市場運営	・株式会社化による市場運営 ・株式会社化による市場運営 ・株式会社化による市場運営	・文化芸術事業 ・市場祭り開催(2000-) ・市場広報誌「トリゾーン」発行(2001-) ・環境改善事業(2005) ・商店街大学運営(2008-)	・市場クーポン発行 ・子ども図書館運営 ・無料配送サービス ・顧客憩い場の運営	・環境改善事業(2003) ・インターネットショッピングモール運営 ・クレジットカード端末機普及	・産地標記 ・市場内の黄色線による来客者の安全確保 ・クレジットカード端末機普及	・施設現代化整備事業(2004) ・商店街大学運営(2004-) ・市場クーポン及び商品券発行 ・まちづくり会社「アリジョン」設立	・施設現代化整備事業(2004) ・商店街大学運営(2004-) ・市場クーポン及び商品券発行 ・まちづくり会社「アリジョン」設立	・施設現代化整備事業(2004) ・商店街大学運営(2004-) ・市場クーポン及び商品券発行 ・まちづくり会社「アリジョン」設立	・施設現代化整備事業(2004) ・商店街大学運営(2004-) ・市場クーポン及び商品券発行 ・まちづくり会社「アリジョン」設立
備考	・漢方特区指定(2005) ・入会費：20万円 ・年会費：25,000円/月					・韓国最大市場 ・建物数：計58箇棟 ・一日来客数45-50万人		・一日来客数65,000人		・文化を通じた伝統市場活性化事業へ採択		・1F：伝統市場 ・2F：体験型ギャラリー		

能と調和している。このような特色は国内外の多くの観光客が訪れることになり、自治会は組織化した市場運営マネジメントを行っている。

③アーケード型(No.2,3,7,8,9,10,11,13)：アーケードのような物的構造物の中に集積された市場。近年、行政支援による市場の環境改善事業や施設現代化整備事業によって増えつつある。しかし、事業前から占有された露店の対策不備によって整備後もアーケード周辺に露店が乱雑に立ち並んでいる。



写真1. Seoul Yanghyeong Market (敷地型)



写真2. Suyu Market (アーケード型)

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計1件)

- ① A Study on the Function and Morphology of Traditional Markets in Seoul, Korea, Dongyun Kwak and Toshio Kitahara, 24th World Congress of Architecture (UIA2011 TOKYO), 査読有, DVD-R, September 2011

〔学会発表〕(計11件)

- ① 東アジアにおける公共空間利用と市場に関する研究 その1、- 韓国ソウル市の13市場を対象として -, 郭東潤・北原理雄, (社)日本建築学会学術講演梗概集(北海道) F-1, 2013年8月
- ② A Study on the Management of Public Spaces and Markets in East Asia, Part 2: Case Studies of Markets in Shanghai, China, TANG Shouni, Dongyun KWAK and Toshio Kitahara, (社)日本建築学会学術講演梗概集(北海道) F-1, 2013年8月
- ③ 東アジアにおける公共空間利用と市場に関する研究 その3、- 台湾台北市の夏

路観光市場を事例として -, 齋藤伊久太郎・郭東潤・湯寿旻・北原理雄, (社)日本建築学会学術講演梗概集(北海道) F-1, 2013年8月

- ④ 市民主体のまちづくり活動に向けて—千葉市パラソルギャラリーを事例に一, 高田翔・北原理雄・郭東潤, 2012年度日本建築学会関東支部研究発表会論文集 CD-R, pp. 449~452, 2013年3月
- ⑤ 台湾台北市の公共空間利用と市場に関する研究 その1-12市場を対象として -, 郭東潤・齋藤伊久太郎・湯寿旻・北原理雄・張翠萍, (社)日本建築学会学術講演梗概集(東海) F-1, pp. 313~314, 2012年9月
- ⑥ 台湾台北市の公共空間利用と市場に関する研究 その2-寧夏観光夜市と建國假日玉市に着目して -, 齋藤伊久太郎・郭東潤・湯寿旻・北原理雄・張翠萍, (社)日本建築学会学術講演梗概集(東海) F-1, pp. 315~316, 2012年9月
- ⑦ A Study on Local Revitalization and Public Spaces in China: Case Studies of Markets in Wuhan, China, TANG Shouni, Dongyun KWAK and Toshio Kitahara, (社)日本建築学会学術講演梗概集(東海) F-1, pp. 331~332, 2012年9月
- ⑧ 千葉市「パラソルギャラリー」における市民の運営参加の可能性に関する研究—運営体制の変化と出展者へのアンケートによる考察—, 黒田潤一・郭東潤・北原理雄, (社)日本建築学会学術講演梗概集(東海) F-1, pp. 267~268, 2012年9月
- ⑨ 伝統的市場再活性化の手法の検討—韓国「国際ワークショップ」を事例として—, 菅沼大資・北原理雄・郭東潤, 2011年度日本建築学会関東支部研究発表会論文集 CD-R, pp. 409~412, 2012年3月
- ⑩ 中国ハルビン市における街路型市場の利用者意識に関する研究—公司街市場の利用者意識調査を通して—: 郭東潤・北原理雄, 日本建築学会学術講演梗概集(関東) F-1, (社)日本建築学会, pp. 723-724, 2011年8月
- ⑪ 市民の文化的活動の表出による都市景観の形成について—千葉市「パラソルギャラリー」を事例として—: 木村宗忠・郭東潤・北原理雄, 2010年度日本建築学会関東支部研究発表会論文集 CD-R, pp. 355~358, 2011年3月

6. 研究組織

(1) 研究代表者

北原理雄 (KITAHARA TOSHIO)
千葉大学・大学院工学研究科・教授
研究者番号: 60115558

(2) 研究分担者

郭東潤 (KWAK DONGYUN)
千葉大学・大学院工学研究科・助教
研究者番号: 10375610
齋藤伊久太郎 (SAITO IKUTARO)
千葉大学・地域観光創造センター・特任研究員
研究者番号: 30466718